

予算科目	4 款	保健事業費	事業名	生活習慣病予防事業																																									
	1 項	特定健康診査等事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																								
	1 目	特定健康診査等事業費		第4節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																								
	事業	特定健康診査等事業費（国民健康保険事業特別会計）		(1)	健康づくりを推進する																																								
担当部課	保健福祉部保険年金課		実施計画掲載ページ	P 55																																									
目的及び事業内容	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、糖尿病等生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、国民健康保険に加入している40歳から74歳を対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施する。</p> <p>該当者に対し生活習慣病を改善するための特定保健指導を行うとともに、医療機関と連携した保健指導の実施により生活習慣病重症化の予防を図る。</p>																																												
取組実績	<p>1 特定健康診査</p> <p>(1) 対象者 40～74歳の国民健康保険加入者 22,626人（令和6年4月1日現在）</p> <p>(2) 受診者 9,843人（受診率：43.5%）</p> <p>(3) 未受診者対策 受診勧奨通知発送※重複あり 実数：9,391人のうち3,109人（33.1%）が受診</p> <p>①前年度特定健診未受診者 4,908人</p> <p>②初めての国保加入者 278人</p> <p>③年度内未受診者再勧奨 5,772人</p> <p>(4) 健康ポイント事業 40～74歳全年齢対象。健診受診状況に応じ抽選で地場産品や健康グッズなど250人に送付。抽選対象者 8,697人（保険税滞納者を除く）</p> <p>(5) その他の取組事項 医師会医療機関等への周知依頼（勧奨ポスター、チラシ配付）</p> <p>2 特定保健指導（メタボリックシンドローム該当者への保健指導）</p> <p>(1) 対象者 国の基準による対象者（積極的支援、動機づけ支援） 1,130人</p> <p>(2) 実施者 342人（実施率：30.3%）</p> <p>3 その他の保健指導</p> <p>特定健診の結果、虚血性心疾患や慢性腎臓病等の発症や重症化の予防を目的に、下記の事業を実施</p> <p>(1) 医療機関と地域保健の連携の取組</p> <p>医療機関への受診勧奨と医師の指示による保健指導</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>受診確認者</th> <th>保健指導対象者</th> <th>保健指導実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>809人</td> <td>507人（62.7%）</td> <td>120人（23.7%）</td> <td>98人（81.7%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 重症化予防の取組</p> <p>特定健診の結果データに合わせた保健師、栄養士による保健指導</p> <p>対象者2,472人 実施者1,135人（実施率：45.9%）</p>					対象者	受診確認者	保健指導対象者	保健指導実施者	809人	507人（62.7%）	120人（23.7%）	98人（81.7%）																																
対象者	受診確認者	保健指導対象者	保健指導実施者																																										
809人	507人（62.7%）	120人（23.7%）	98人（81.7%）																																										
成果	<p>特定健康診査及び特定保健指導等の実施により、生活習慣病の発症や重症化の予防が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">特定健康診査受診率</th> <th colspan="4">特定保健指導実施率</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>55.5%</td> <td>42.0%</td> <td>75.7%</td> <td>R4</td> <td>55.0%</td> <td>23.3%</td> <td>42.4%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>58.5%</td> <td>42.6%</td> <td>72.8%</td> <td>R5</td> <td>60.0%</td> <td>28.3%</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>50.0%</td> <td>43.5%</td> <td>87.0%</td> <td>R6</td> <td>40.0%</td> <td>30.3%</td> <td>75.8%</td> </tr> </tbody> </table>					特定健康診査受診率				特定保健指導実施率				区分	目標	実績	達成率	区分	目標	実績	達成率	R4	55.5%	42.0%	75.7%	R4	55.0%	23.3%	42.4%	R5	58.5%	42.6%	72.8%	R5	60.0%	28.3%	47.2%	R6	50.0%	43.5%	87.0%	R6	40.0%	30.3%	75.8%
特定健康診査受診率				特定保健指導実施率																																									
区分	目標	実績	達成率	区分	目標	実績	達成率																																						
R4	55.5%	42.0%	75.7%	R4	55.0%	23.3%	42.4%																																						
R5	58.5%	42.6%	72.8%	R5	60.0%	28.3%	47.2%																																						
R6	50.0%	43.5%	87.0%	R6	40.0%	30.3%	75.8%																																						
成果に係る評価	<p>特定健康診査受診率の向上を図るため、医療機関等でのポスターの掲示やホームページにより周知を行い、未受診者に対して個別に受診勧奨通知を送付したほか、自己負担額無料化の継続や、夜間・土曜健診の実施による受診しやすい環境整備に努めるとともに、健診受診者に対し、インセンティブとして健康ポイント事業を実施するなどの取組を行った結果、受診率が向上した。</p> <p>また、健診後のフォローのため、特定保健指導や健診結果に合わせた重症化予防の取組を実施した。</p> <p>特定健康診査及び特定保健指導等は生活習慣病の発症や重症化予防に寄与していることから、今後も事業を継続する必要がある。</p>																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																							
131,454,000	129,610,192	75,634,445			53,975,747																																								

予算科目	4 款	保健事業費	事業名	国民健康保険人間ドック等事業																																																									
	2 項	保健事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																								
	1 目	保健衛生普及費		第 4 節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																																								
	事業	保健衛生普及費（国民健康保険事業特別会計）		(1)	健康づくりを推進する																																																								
担当部課	保健福祉部保険年金課		実施計画掲載ページ	P 55																																																									
目的及び事業内容	生活習慣病をはじめとする疾病等の早期発見、予防及び受診の促進を図るとともに、生活習慣の改善や健康に対する意識及び特定健康診査の受診率の向上に寄与することを目的として、国民健康保険に加入している40歳、45歳、50歳、55歳及び60歳を対象に人間ドックを実施し、45歳及び50歳を対象に脳ドックを実施する。																																																												
取組実績	<p>1 人間ドック事業 対象者 1,537人 受診者 341人 (受診率: 22.2%)</p> <p>2 脳ドック事業 対象者 584人 受診者 112人 (受診率: 19.2%)</p> <p>3 特定保健指導（人間ドック受診者分） 対象者 90人 実施者 30人 (実施率: 33.3%)</p> <p>【年齢別受診率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">人間ドック</th> <th colspan="3">脳ドック</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40歳</td> <td>202人</td> <td>44人</td> <td>21.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>45歳</td> <td>274人</td> <td>67人</td> <td>24.5%</td> <td>274人</td> <td>55人</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>50歳</td> <td>310人</td> <td>68人</td> <td>21.9%</td> <td>310人</td> <td>57人</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>55歳</td> <td>368人</td> <td>73人</td> <td>19.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60歳</td> <td>383人</td> <td>89人</td> <td>23.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,537人</td> <td>341人</td> <td>22.2%</td> <td>584人</td> <td>112人</td> <td>19.2%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人間ドック			脳ドック			対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	40歳	202人	44人	21.8%				45歳	274人	67人	24.5%	274人	55人	20.1%	50歳	310人	68人	21.9%	310人	57人	18.4%	55歳	368人	73人	19.8%				60歳	383人	89人	23.2%				合計	1,537人	341人	22.2%	584人	112人	19.2%
区分	人間ドック			脳ドック																																																									
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率																																																							
40歳	202人	44人	21.8%																																																										
45歳	274人	67人	24.5%	274人	55人	20.1%																																																							
50歳	310人	68人	21.9%	310人	57人	18.4%																																																							
55歳	368人	73人	19.8%																																																										
60歳	383人	89人	23.2%																																																										
合計	1,537人	341人	22.2%	584人	112人	19.2%																																																							
成 果	<p>生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見及び受診の促進が図られた。</p> <p>人間ドック受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>30.0%</td> <td>21.0%</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>30.0%</td> <td>20.6%</td> <td>68.7%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>30.0%</td> <td>22.2%</td> <td>74.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>脳ドック受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>26.0%</td> <td>20.3%</td> <td>78.1%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>26.0%</td> <td>15.5%</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>26.0%</td> <td>19.2%</td> <td>73.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導実施率（人間ドック受診者分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>55.0%</td> <td>26.4%</td> <td>48.0%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>60.0%</td> <td>32.4%</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>40.0%</td> <td>33.3%</td> <td>83.3%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	目標	実績	達成率	R4	30.0%	21.0%	70.0%	R5	30.0%	20.6%	68.7%	R6	30.0%	22.2%	74.0%	区分	目標	実績	達成率	R4	26.0%	20.3%	78.1%	R5	26.0%	15.5%	59.6%	R6	26.0%	19.2%	73.8%	区分	目標	実績	達成率	R4	55.0%	26.4%	48.0%	R5	60.0%	32.4%	54.0%	R6	40.0%	33.3%	83.3%							
区分	目標	実績	達成率																																																										
R4	30.0%	21.0%	70.0%																																																										
R5	30.0%	20.6%	68.7%																																																										
R6	30.0%	22.2%	74.0%																																																										
区分	目標	実績	達成率																																																										
R4	26.0%	20.3%	78.1%																																																										
R5	26.0%	15.5%	59.6%																																																										
R6	26.0%	19.2%	73.8%																																																										
区分	目標	実績	達成率																																																										
R4	55.0%	26.4%	48.0%																																																										
R5	60.0%	32.4%	54.0%																																																										
R6	40.0%	33.3%	83.3%																																																										
成果に係る評価	人間ドック及び脳ドックの受診率向上を図るため、ホームページで周知を図ったほか、対象者へ個別通知を行い、共に受診率が向上した。 また、40歳で初めて人間ドックを受診した方に対しては、継続的な健診受診の機会となるよう、健診結果の見方や受診の必要性を説明するなどの取組を実施した。 人間ドック及び脳ドックは、生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見、治療、発症及び重症化予防に寄与していることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																												
予算の執行状況	(単位: 円)																																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																																							
	17,126,558	13,893,835				13,893,835																																																							

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	機能訓練訪問事業																														
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																													
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																													
	事業	機能訓練訪問事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																													
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P 49																														
目的及び事業内容	体力の改善に向けた支援が必要なケースや、日常生活動作等の改善に向けた支援が必要なケースに対し、理学療法士と連携しながら、看護師等が在宅にて短期集中的に相談・指導を行い、身体状況の改善を図る。																																	
取組実績	<p>地域包括支援センターが作成した介護予防プランに基づき、日常生活動作等の改善に向けた支援について、理学療法士及び看護師が連携しながら、在宅にて短期集中的（3～6か月）に相談・指導を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">訪問実人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">訪問延べ回数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>指導員</th> <th>リハビリ専門職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>40人</td> <td>19人</td> <td>47.5%</td> <td>233回</td> <td>105回</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>40人</td> <td>20人</td> <td>50.0%</td> <td>248回</td> <td>108回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>40人</td> <td>22人</td> <td>55.0%</td> <td>246回</td> <td>110回</td> </tr> </tbody> </table>						年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数		目標値	実績	指導員	リハビリ専門職	R4	40人	19人	47.5%	233回	105回	R5	40人	20人	50.0%	248回	108回	R6	40人	22人	55.0%	246回	110回
年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数																														
	目標値	実績		指導員	リハビリ専門職																													
R4	40人	19人	47.5%	233回	105回																													
R5	40人	20人	50.0%	248回	108回																													
R6	40人	22人	55.0%	246回	110回																													
成 果	<p>本事業の申請者となる各地域包括支援センターの職員に対して、事業説明及び周知を繰り返し実施したこと、訪問型介護予防事業から本事業に繋ぐ等の連携を図ったことで、新規申請数、訪問実人数が増加した。 また、本事業の対象者に対して、理学療法士の適切な身体機能の評価や専門的な指導、体操を習慣化させたことにより身体の痛み等の軽減が図られ、生活機能が向上した。</p>																																	
成果に係る評価	<p>身体機能が低下し、介助なしで日常生活を営むことが困難な要支援者等に対し、訪問指導員が体力の改善や日常生活動作等の改善を目的とした機能訓練を短期集中的に行うことにより、身体機能や生活機能の向上が図られている。 今後も地域包括支援センターとの連携に加え、居宅介護支援事業所等に所属するケアマネジャーへの事業の周知を徹底し、対象者を本事業に繋げる必要がある。</p>																																	
予算の執行状況	(単位: 円)																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																												
	2,354,000	975,985	414,639		385,514	175,832																												

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	通所型サービス支援事業																					
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																				
	事業	通所型サービス支援事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49																					
目的及び事業内容	65歳以上の要支援者及び事業対象者を中心に体操や運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくりとして、定期的なサロン等を提供する住民主体の個人や団体に対して補助金を交付することにより、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び要介護状態の予防並びに地域の支え合い体制を推進する。 ※事業対象者とは、介護認定で非該当になった方や介護認定を受けていない方で、生活機能に関する「基本チェックリスト」の実施により該当した者。																								
取組実績	1 補助要件 ・ 事業を6か月以上継続して実施 ・ 概ね週1回以上実施 ・ 1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 ・ 1回当たりの平均利用者のうち要支援者等が5人以上であること。																								
	2 補助金額 補助金額要支援者等の利用者1人当たり1回1,000円（月額上限50,000円）																								
取組実績	3 補助交付件数																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付対象団体</th> <th>活動延べ回数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1団体</td> <td>120回</td> <td>600人</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2団体</td> <td>147回</td> <td>928人</td> <td>714,000円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2団体</td> <td>145回</td> <td>1,207人</td> <td>921,508円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付対象団体	活動延べ回数	延べ利用者数	補助金交付額	R4	1団体	120回	600人	600,000円	R5	2団体	147回	928人	714,000円	R6	2団体	145回	1,207人
年度	交付対象団体	活動延べ回数	延べ利用者数	補助金交付額																					
R4	1団体	120回	600人	600,000円																					
R5	2団体	147回	928人	714,000円																					
R6	2団体	145回	1,207人	921,508円																					
成果	令和5年度中に交付対象団体が1団体増加している。令和6年度については、前年度の交付対象団体が年間を通して継続して活動できたことから、延べ利用者数が増加した。 要支援者等を対象に通所型サービスを行うことにより、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び要介護状態の予防並びに地域の支え合い体制づくりを推進することができた。																								
成果に係る評価	補助要件に加え、事業の性質上、実施主体となるボランティア等の人材が少ないことから2団体の実施に留まっているものの、サロン活動の発展的な展開として位置付けている。また、介護保険サービスの少ない半島地区の通所型サービス提供団体の支援を行うことにより、地域の支え合い体制の維持に寄与している。 この事業は、介護予防ケアマネジメントにより、支援が必要とされた方が対象となっているため、運営に当たっては従事者や従事者であった者の秘密保持、衛生管理や健康管理、事故対応方針など、通常のサロン活動などに比べ制限があるが、今後もサロン団体等が増えるように事業の周知を図っていく。																								
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																			
	1,209,000	921,508	391,495		363,996	166,017																			

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	「食」の自立支援事業																																					
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	1 目	一般介護予防事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																				
	事業	「食」の自立支援事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 50																																					
目的及び事業内容	一人暮らし高齢者等で日常の食生活において支援が必要な方に対し、食生活の改善を図るため、配食サービスを提供し、併せて利用者の安否確認を行う。																																								
取組実績	単身世帯又は高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行った。 ・ 利用者1人当たり週7回を限度とする。 ・ 1食（810円）につき、利用者が400円、市が410円を負担する。																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">利用実人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">利用延べ食数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">委託事業者</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>160人</td> <td>193人</td> <td>120.6%</td> <td>25,800食</td> <td>27,630食</td> <td>107.1%</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>230人</td> <td>251人</td> <td>109.1%</td> <td>36,600食</td> <td>36,344食</td> <td>99.3%</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>280人</td> <td>305人</td> <td>108.9%</td> <td>45,600食</td> <td>43,415食</td> <td>95.2%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率	委託事業者	目標値	実績	目標値	実績	R4	160人	193人	120.6%	25,800食	27,630食	107.1%	5	R5	230人	251人	109.1%	36,600食	36,344食	99.3%	5	R6	280人	305人	108.9%	45,600食	43,415食	95.2%
年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率		委託事業者																																	
	目標値	実績		目標値	実績																																				
R4	160人	193人	120.6%	25,800食	27,630食	107.1%	5																																		
R5	230人	251人	109.1%	36,600食	36,344食	99.3%	5																																		
R6	280人	305人	108.9%	45,600食	43,415食	95.2%	5																																		
成果	要件に該当する対象者に対して、43,415食を配食（前年度と比較して7,071食の増）し、併せて安否確認を行ったことにより、高齢者の食生活の改善及び在宅生活の継続につながった。 また、配食業者に配送料を追加で支払うことで、雄勝、牡鹿、北上等の沿岸地域の対象者へも安定的に配食できた。																																								
成果に係る評価	高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続するためには、栄養バランスのとれた食事の確保と日常的な安否確認が重要である。本事業により、調理等が十分にできない一人暮らしや高齢者のみの市民税非課税の世帯に対し、栄養バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで、305名が住み慣れた自宅での生活が継続できた。高齢化率の上昇及び在宅高齢者の増加、一人暮らしまたは高齢者のみ世帯の増加等に伴い、令和12年頃までは利用人数、食数ともに増加が見込まれるため、必要な方についてタイムリーに申請していただける様、周知が必要である。 沿岸地域の配達において1日あたり2,500円の配送料がかかる点に関しては、沿岸部への安定的な配食サービスの提供のためやむを得ないと考えるが、更に利用しやすい事業とするため、沿岸部への配食が可能な事業者の新規参入に向け、今後も事業の周知に努めたい。																																								
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																			
	19,159,150	19,156,832	8,138,614		7,566,949	3,451,269																																			

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	訪問型介護予防事業																												
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																											
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																											
	事業	訪問指導員事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																											
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49																												
目的及び事業内容	療養上の保健指導が必要と認められる高齢者等に対し、訪問指導員が訪問し、必要な相談・指導を行うことにより、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。 対象者は、市内に住所を有し、次の項目のいずれかに該当する65歳以上の方である。 ・閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある方又はこれらの状態にある方 ・健康診査等で健康管理上訪問指導が必要と認められる方 ・要支援又は要介護の認定を受けている方																															
取組実績	<p>地域包括支援センター等が作成した介護予防プラン等に基づき、以下の指導等を行った。</p> <p>1 介護予防 栄養指導、口腔体操、体操</p> <p>2 要介護状態の軽減・悪化防止 健康チェック、服薬指導、病気や認知症の観察</p> <p>3 家庭における療養方法 日常生活（食事、運動、排せつ、受診の有無等）を確認し指導、精神的支援（傾聴）</p> <p>4 家庭における機能訓練の方法、住宅改修及び福祉用具の使用法 運動指導、日常生活動作の確認と指導</p> <p>5 生活習慣病の予防 喫煙や飲酒状態の確認と指導、運動・体重・睡眠・食事量の状態の確認と指導 疾病の悪化予防として、服薬確認、受診のすすめ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">訪問実人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">訪問延べ回数 実績</th> <th rowspan="2">訪問指導員</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>120人</td> <td>83人</td> <td>69.2%</td> <td>1,244回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>120人</td> <td>82人</td> <td>68.3%</td> <td>1,232回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>120人</td> <td>83人</td> <td>69.2%</td> <td>1,088回</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数 実績	訪問指導員	目標値	実績	R4	120人	83人	69.2%	1,244回	4人	R5	120人	82人	68.3%	1,232回	4人	R6	120人	83人	69.2%	1,088回	4人
年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数 実績	訪問指導員																											
	目標値	実績																														
R4	120人	83人	69.2%	1,244回	4人																											
R5	120人	82人	68.3%	1,232回	4人																											
R6	120人	83人	69.2%	1,088回	4人																											
成果	高齢者へ個別訪問・指導するなかで、健康面や精神面での関わりにより、在宅生活の維持が図られた。 また、市内の居宅介護支援事業所等に所属する介護支援専門員へ本事業の周知を徹底したことで、不調をきたした高齢者を本事業につなげることができた。																															
成果に係る評価	健康面だけでなく、精神面での関わりにより高齢者の心身の機能低下を防止し、在宅生活の維持ができるよう寄与している。 訪問人数は1人増となったが、訪問延べ回数が減少しているため、機能訓練訪問事業や地域包括支援センターとの調整を図り、適切な訪問回数を確保する必要がある。 また、居宅介護支援事業所や施設等に所属する介護支援専門員への事業の周知を徹底し、更に機能訓練訪問指導終了者を本事業に繋げることで、介護予防を図り、市内の高齢者が住み慣れた地域で長く安心した生活が送れるよう図っていく。																															
予算の執行状況	(単位：円)																															
予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
		国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																											
14,945,000	14,556,485	6,184,198		5,749,812	2,622,475																											

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	ミニデイサービス支援事業																		
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																	
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																	
	事業	ミニデイサービス支援事業費（介護保険事業特別会計）		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																	
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 48																		
目的及び事業内容	高齢者を対象に、地域の集会所・家屋等を利用して、小規模にデイサービス事業等の福祉サービスを提供する個人又は団体に対し、補助金を交付し、在宅高齢者の心身機能維持・向上を図る。																					
取組実績	<p>1 補助金額 利用者1人当たり1回の利用：1,180円 補助金交付額：6,822,760円</p> <p>2 利用件数 交付対象団体：9 団体 延利用者数：5,782人</p> <p>3 補助金交付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>団体数</th> <th>延利用者数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>9 団体</td> <td>5,594 人</td> <td>6,600,920 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9 団体</td> <td>5,604 人</td> <td>6,612,720 円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>9 団体</td> <td>5,782 人</td> <td>6,822,760 円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	団体数	延利用者数	補助金額	R4	9 団体	5,594 人	6,600,920 円	R5	9 団体	5,604 人	6,612,720 円	R6	9 団体	5,782 人	6,822,760 円
年度	団体数	延利用者数	補助金額																			
R4	9 団体	5,594 人	6,600,920 円																			
R5	9 団体	5,604 人	6,612,720 円																			
R6	9 団体	5,782 人	6,822,760 円																			
成果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、補助対象要件の緩和を行ってきたが、感染症法上の位置づけが変更されたことから、その補助対象要件の緩和を全て撤廃した。 また、サービス利用者についても、ミニデイサービスを利用することで心身機能の維持や介護予防の意識向上が図られた。																					
成果に係る評価	補助金の交付時期を早めたり実施団体と密に連絡を取り合うことにより、利用状況が向上している。 地域での身近な小規模デイサービスを提供する事業者に対して補助金を交付することにより、きめ細やかな福祉サービスを提供し、高齢者の生活の活性化を図ることができた。 高齢者の心身機能の維持・向上、社会的孤立感の解消の必要性が高まっており、本事業は、高齢者の孤立感の解消やフレイル予防の上で、重要な役割を果たしていることから、今後も事業を継続する必要がある。																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
		国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																	
8,473,000	6,822,760	2,898,591		2,694,990	1,229,179																	

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	通所型介護予防事業																																		
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	1 目	一般介護予防事業費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																	
	事業	通所型介護予防事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																																	
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49																																		
目的及び事業内容	65歳以上の高齢者が、運動機能の向上や口腔機能の改善等の介護予防全般について専門職から学び、各自が生活の活動性を高めることで要介護状態等になることを予防するとともに、介護予防に資する自発的な活動が広く実施できるよう介護予防の啓発、普及等を図る。 (介護予防はつらつ元気教室、地域介護予防教室、いきいき100歳体操普及事業)																																					
取組実績	<p>1 介護予防はつらつ元気教室 運動機能向上のほか栄養改善及び口腔機能向上等を実施することにより、生活機能低下の防止につながる。また、教室終了後も自主的に活動できるよう住民主体の通いの場を創出する。 (1) 実施回数 96回 (12会場8回コース) (2) 参加人数 983人</p> <p>2 地域介護予防教室 各地域包括支援センターに委託し、地域の高齢者を対象に気軽に参加出来る介護予防教室を実施した。(運動機能向上、腰痛、口腔機能向上、栄養改善、生きがいつくり支援・閉じこもり予防、認知症・うつ予防) (1) 実施回数 233回 (2) 参加人数 2,920人</p> <p>3 いきいき100歳体操サポーター養成講座 専門スタッフによるいきいき100歳体操の実施及び自主活動に向けた支援を行った。 (1) 実施回数 1回 (5回コース) (2) 参加人数 118人</p> <p>4 いきいき100歳体操立上げ支援事業 (1) 実施希望サロン団体 19団体 29回 397人</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">参加延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>393回</td> <td>321回</td> <td>81.7%</td> <td>5,790人</td> <td>3,825人</td> <td>66.1%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>393回</td> <td>355回</td> <td>90.3%</td> <td>5,790人</td> <td>4,196人</td> <td>72.5%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>393回</td> <td>363回</td> <td>92.3%</td> <td>5,790人</td> <td>4,418人</td> <td>76.3%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	開催回数		達成率	参加延べ人数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R4	393回	321回	81.7%	5,790人	3,825人	66.1%	R5	393回	355回	90.3%	5,790人	4,196人	72.5%	R6	393回	363回	92.3%	5,790人	4,418人	76.3%
年度	開催回数		達成率	参加延べ人数		達成率																																
	目標値	実績		目標値	実績																																	
R4	393回	321回	81.7%	5,790人	3,825人	66.1%																																
R5	393回	355回	90.3%	5,790人	4,196人	72.5%																																
R6	393回	363回	92.3%	5,790人	4,418人	76.3%																																
成果	高齢者への介護予防を図るために、専門知識を有する業者へ委託したことで、健康指導に関する普及啓発が図られた。また、はつらつ元気教室終了後に、いきいき100歳体操サポーター養成講座につなげる等、各事業が連携したことで、住民主体での介護予防の自主活動へとつながった。																																					
成果に係る評価	委託事業所と地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等と密に連携をとり、介護予防はつらつ元気教室のなかで、いきいき100歳体操サポーター養成講座につなげる働きかけを実施したことにより、住民主体の通いの場を創出することができた。 本事業を実施することで、高齢者自ら日常生活において自身にあった介護予防を実践し、生活機能を維持する働きかけが行っている。																																					
予算の執行状況	(単位：円)																																					
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
		国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																	
17,056,850	16,430,238	6,980,245		6,489,944	2,960,049																																	

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	地域リハビリテーション活動支援事業																																				
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	1 目	一般介護予防事業費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																			
	事業	地域リハビリテーション活動支援事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																																			
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 50																																				
目的及び事業内容	在宅で介護予防のためのリハビリテーション支援が必要な個人及び住民主体による自主活動を行っている団体等に対し、リハビリ専門職を派遣し個別訪問、集団運動指導及びリハビリテーション相談を行うことにより、地域における介護予防の取組を強化する。																																							
取組実績	<p>1 個別訪問 リハビリテーション支援が必要な方を訪問し、個別の運動プログラムや住宅環境の改善、福祉用具の活用等に関する相談や指導を行った。</p> <p>2 集団運動指導 サロン活動等において、健康づくりのための安全で効果的な運動指導やリハビリテーションに関する相談を実施した。</p> <p>3 地域ケア会議（令和4年度より開始） 介護予防、問題解決型、地域課題等の地域ケア会議において、介護支援専門員等に対し専門職として助言を行い、高齢者の生活の質の向上を目指す。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">個別訪問</th> <th colspan="2">集団運動指導</th> <th colspan="2">地域ケア会議</th> </tr> <tr> <th>訪問数</th> <th>利用実人数</th> <th>実施回数</th> <th>利用実人数</th> <th>実施回数</th> <th>利用実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>40件</td> <td>40人</td> <td>32回</td> <td>385人</td> <td>35回</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>24件</td> <td>24人</td> <td>65回</td> <td>890人</td> <td>36回</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>21件</td> <td>21人</td> <td>54回</td> <td>690人</td> <td>34回</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	個別訪問		集団運動指導		地域ケア会議		訪問数	利用実人数	実施回数	利用実人数	実施回数	利用実人数	R4	40件	40人	32回	385人	35回	35人	R5	24件	24人	65回	890人	36回	36人	R6	21件	21人	54回	690人	34回	34人
年度	個別訪問		集団運動指導		地域ケア会議																																			
	訪問数	利用実人数	実施回数	利用実人数	実施回数	利用実人数																																		
R4	40件	40人	32回	385人	35回	35人																																		
R5	24件	24人	65回	890人	36回	36人																																		
R6	21件	21人	54回	690人	34回	34人																																		
成果	地域ケア会議に参加することで、介護専門職との多職種連携が図られ、高齢者の在宅生活を維持できるよう支援方法を実践することができた。また、各専門職が個別訪問や集団指導のなかで、高齢者に専門的な指導・助言を行うことで、広く介護予防を図ることができた。																																							
成果に係る評価	令和6年度より、各派遣回数の減少がみられた。特に減少がみられる集団運動指導の対象となるサロンへの周知を各介護事業所や石巻市社会福祉協議会と連携し、本事業につながるよう図っていく。また、通所介護予防事業で実施している、いきいき100歳体操立上げ支援と本事業を連携することで、本事業を拡充し、市全体の介護予防を図る。																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
		国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																			
1,362,000	1,003,476	426,319		396,374	180,783																																			

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	地域介護予防活動支援事業																																			
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																		
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																		
	事業	地域介護予防活動支援事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	介護予防等の取組を推進する																																		
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P50																																			
目的及び事業内容	<p>高齢者等を対象とした日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通いの場を提供する住民主体による自主的活動を支援するとともに、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防、地域の支え合い体制づくりの推進を目的とする。</p> <p>地域の集会所等において、65歳以上の高齢者を中心に、運動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的な通いの場を提供する個人または団体に対して補助金を交付する。</p>																																						
取組実績	<p>1 補助要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業を6か月以上継続して実施 月2回以上実施 1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 1回当たりの平均利用者のうち65歳以上の高齢者が5人以上 <p>2 補助金額</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回当たり1,000円、月額上限10,000円（活動回数に応じ、年間上限120,000円） <p>3 補助実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>交付対象団体</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> <th>登録人数</th> <th>達成率</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>55団体</td> <td>28団体</td> <td>50.9%</td> <td>990人</td> <td>525人</td> <td>53.0%</td> <td>1,710,903円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>55団体</td> <td>32団体</td> <td>58.2%</td> <td>990人</td> <td>587人</td> <td>59.3%</td> <td>1,841,690円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>55団体</td> <td>59団体</td> <td>107.2%</td> <td>990人</td> <td>925人</td> <td>93.4%</td> <td>2,440,490円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	目標値	交付対象団体	達成率	目標値	登録人数	達成率	補助金交付額	R4	55団体	28団体	50.9%	990人	525人	53.0%	1,710,903円	R5	55団体	32団体	58.2%	990人	587人	59.3%	1,841,690円	R6	55団体	59団体	107.2%	990人	925人	93.4%	2,440,490円
年度	目標値	交付対象団体	達成率	目標値	登録人数	達成率	補助金交付額																																
R4	55団体	28団体	50.9%	990人	525人	53.0%	1,710,903円																																
R5	55団体	32団体	58.2%	990人	587人	59.3%	1,841,690円																																
R6	55団体	59団体	107.2%	990人	925人	93.4%	2,440,490円																																
成果	<p>生活支援コーディネーターと連携し、資金面に課題があり、活動の継続が困難となった既存団体等へ事業の情報提供を行ったことで、交付対象団体が増加した。また、各種介護予防事業の中で、新規団体の立ち上げ支援に合わせて事業の周知を行ったことで、新規団体の申請につながった。</p> <p>補助金を交付することにより、会場費等必要経費の自己負担の軽減及び活動内容の充実が図られ、高齢者の日中の居場所づくりにつながった。</p>																																						
成果に係る評価	<p>住み慣れた地域で気軽に参加できる通いの場は、介護予防に大きく寄与している。</p> <p>地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等を通じて、新規団体へ事業の周知を図るとともに、既存団体の安定した活動継続のため、きめ細かい支援と相談対応を行っていく必要がある。</p> <p>サロン活動は、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防に効果的なため、各関係機関との連携やシニアガイドブックを活用しながら、幅広い方法で本事業のさらなる啓発と周知を行っていく。</p>																																						
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																	
	3,742,000	2,581,763	1,096,839		1,019,796	465,128																																	

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	高齢者世話付住宅事業																											
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	3 目	任意事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																										
	事業	高齢者世話付住宅事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する																										
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P50																											
目的及び事業内容	<p>県営石巻渡波住宅に設置されている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に生活援助員を派遣し、居住している高齢者に対し、生活相談、生活指導、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等のサービスを実施する。</p>																														
取組実績	<p>1 シルバーハウジング入居者に対し、生活援助員として2人（常駐1人）を派遣し、生活指導、相談対応、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等を行った。</p> <p>2 委託業者による休日、早期及び夜間の緊急通報対応業務を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置戸数</th> <th>入居戸数</th> <th>入居率</th> <th>入居者実人員</th> <th>派遣人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>10戸</td> <td>8戸</td> <td>80.0%</td> <td>10人</td> <td>2人（常駐1人）</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10戸</td> <td>7戸</td> <td>70.0%</td> <td>9人</td> <td>2人（常駐1人）</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>10戸</td> <td>7戸</td> <td>70.0%</td> <td>9人</td> <td>2人（常駐1人）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※各年度3月末日現在</p>							年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員	R4	10戸	8戸	80.0%	10人	2人（常駐1人）	R5	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）	R6	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）
年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員																										
R4	10戸	8戸	80.0%	10人	2人（常駐1人）																										
R5	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）																										
R6	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）																										
成果	<p>過去3年間の動向としては、令和5年度に単身での生活が困難となり、養護老人ホームへ入居となった1世帯が退居となった。令和6年度は、入居戸数及び入居者実人数は横ばいとなっている。</p> <p>生活援助員の活動や緊急通報システム等の設備により、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援が図られた。</p>																														
成果に係る評価	<p>生活援助員を派遣し、日常生活の支援や安否確認等を行うことにより、単身高齢者や高齢夫婦のみの入居者が、地域の中で自立して生活していく上での不安や孤立感の解消が図られている。</p> <p>居住者の高齢化に伴い、相談内容が多岐にわたることから、今後も、住宅を管理する宮城県住宅供給公社や高齢者の総合相談先である地域包括支援センターと連携しながら、入居者が安全かつ安心して生活を営むことができるよう事業を継続していく。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																									
	4,027,080	3,885,927	2,334,830		797,054	754,043																									

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	成年後見制度利用支援事業																																					
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	3 目	任意事業費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																				
	事業	成年後見制度利用支援事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P51																																					
目的及び事業内容	<p>認知症等によって、物事を判断する能力が十分ではない高齢者のうち、身寄りがいないなどの理由で、審判の期待ができない方について、市長が家庭裁判所に対して成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求（成年後見制度市長申立て）等を行い、本人の権利を守る援助者（後見人、保佐人、補助人）を選任することにより、適切な財産管理と身上の保護を図る。</p> <p>併せて、経済的に支援を受けなければ成年後見制度の利用が困難な状況にある者に対しては、報酬の助成を行うことで、制度利用継続の支援を図る。</p>																																								
取組実績	<p>1 市長による成年後見等の開始に係る審判請求 地域包括支援センター等の相談支援機関から成年後見制度に関する相談を受け、必要に応じて家庭裁判所に対して成年後見等の開始に係る審判の請求を行った。 【成年後見制度の類型】 ・ 事理を弁識する能力を欠く常況にある者（成年後見） ・ 事理を弁識する能力が著しく不十分である者（保佐） ・ 事理を弁識する能力が不十分である者（補助）</p> <p>2 成年後見人等への報酬に関する助成 成年後見人等への報酬支払いが困難な成年後見人等に対して助成を行った。 ・ 対象者：生活保護受給者、助成を受けなければ成年後見人等への報酬支払いが困難な者 ・ 助成上限額（月額）：在宅生活者＝28,000円、施設入所者＝18,000円</p> <p>3 実績（介護福祉課・総合相談センター合算分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">成年後見制度市長申立て</th> <th colspan="2">成年後見人等報酬の助成</th> </tr> <tr> <th>相談件数</th> <th>申立件数</th> <th colspan="2">類型内訳</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>16件</td> <td>12件</td> <td>後見：8件</td> <td>保佐：3件</td> <td>補助：1件</td> <td>11件 2,434,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15件</td> <td>9件</td> <td>後見：8件</td> <td>保佐：1件</td> <td>補助：0件</td> <td>10件 2,208,000円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>14件</td> <td>10件</td> <td>後見：7件</td> <td>保佐：3件</td> <td>補助：0件</td> <td>9件 1,867,118円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	成年後見制度市長申立て				成年後見人等報酬の助成		相談件数	申立件数	類型内訳		助成件数	助成金額	R4	16件	12件	後見：8件	保佐：3件	補助：1件	11件 2,434,000円	R5	15件	9件	後見：8件	保佐：1件	補助：0件	10件 2,208,000円	R6	14件	10件	後見：7件	保佐：3件	補助：0件	9件 1,867,118円
年度	成年後見制度市長申立て				成年後見人等報酬の助成																																				
	相談件数	申立件数	類型内訳		助成件数	助成金額																																			
R4	16件	12件	後見：8件	保佐：3件	補助：1件	11件 2,434,000円																																			
R5	15件	9件	後見：8件	保佐：1件	補助：0件	10件 2,208,000円																																			
R6	14件	10件	後見：7件	保佐：3件	補助：0件	9件 1,867,118円																																			
成果	<p>成年後見制度市長申立てを活用することで、判断能力が不十分な高齢者の制度利用開始を支援し、対象者の福祉の増進が図られた。</p> <p>併せて、成年後見人等に対する報酬の支払いが行えない成年後見人等に助成を行うことで、制度の利用継続を支援することができた。</p> <p>また、専門職団体（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）及び家庭裁判所が参加する石巻市成年後見制度利用促進会議を開催し、参加者と意見交換及び情報共有を行うことで、本事業を含む本市の成年後見制度関連施策に関する課題の洗い出しを行った。</p>																																								
成果に係る評価	<p>成年後見制度市長申立てについては、戸籍の広域交付制度の活用や関係機関との連携により、前年度を上回る件数の申立てを行うことができた。</p> <p>成年後見人等への報酬に対する助成件数については前年度を下回っているが、これは継続利用者が死亡等の理由で減少したためであり、令和7年度以降の助成件数は増加すると思われる。</p> <p>成年後見制度の利用ニーズは今後増え続ける見込みであり、今後も事業を継続し制度の新規開始及び利用継続を支援する必要がある。</p>																																								
予算の執行状況	（単位：円）																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																			
	9,500,920	2,445,701	1,480,895		482,638	482,168																																			

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	地域づくり支援事業																					
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	4 目	生活支援体制整備事業費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																				
	事業	地域づくり支援事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P51																					
目的及び事業内容	<p>単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、石巻市社会福祉協議会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。</p>																								
取組実績	<p>1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体（第1層協議体）の設置（委員13名）</p> <p>2 生活支援コーディネーターの配置（地域福祉コーディネーター兼務） 第1層生活支援コーディネーター 1人（石巻市全域） 第2層生活支援コーディネーター 13人（市内16地区のうち3地区については兼務）</p> <p>3 第2層協議体の設置（市内16地区）</p>																								
成果	<p>第2層協議体（16地区）が、年間96回の協議を行い、地域の支え合い体制づくりについて話し合いや取り組みを進めることができた。</p> <p>具体的には、第2層協議体単位での学びの機会の創出や、地域住民への情報発信、沿岸地域における軽度生活援助の担い手研修など、地域の課題と実情に合わせた具体的な取り組みにつながっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">第2層協議体開催回数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>68回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>88回</td> <td>56回</td> <td>63.6%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>90回</td> <td>96回</td> <td>106.6%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	第2層協議体開催回数		達成率	目標値	実績	R4		68回		R5	88回	56回	63.6%	R6	90回	96回	106.6%
年度	第2層協議体開催回数		達成率																						
	目標値	実績																							
R4		68回																							
R5	88回	56回	63.6%																						
R6	90回	96回	106.6%																						
成果に係る評価	<p>生活支援コーディネーターをはじめとして、地縁組織、地域包括支援センター、地域コミュニティなどの連携のもと、第2層協議体による具体的な取り組み（生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築及び高齢者を支える地域の支え合い体制づくり）を進めることができた。</p> <p>また、第1層協議体では、県の伴走型支援事業を活用し、第2層協議体を対象とした研修会を実施したほか、生活支援を行っている各種団体（11団体）にヒアリングして、うまく行っている要因や課題等について分析を進めた。</p> <p>今後も、地域のニーズや課題等を把握するとともに、地域住民の互助による助け合い活動を推進することで、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを構築し、多様なサービスの提供体制の充実を図っていく。</p>																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																			
	39,901,000	36,151,208	17,062,077		16,304,383	2,784,748																			

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	認知症総合支援事業																																	
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	5 目	認知症総合支援事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																
	事業	認知症総合支援事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P51																																	
目的及び事業内容	<p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族を支援することを目的とする。</p> <p>認知症の疑われる人やその家族に対して早期に関わる支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた認知症初期集中支援推進事業を実施。また、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、支援ネットワークの構築や「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」をまとめた認知症ケアパスの活用、認知症カフェなどを実施し、認知症の人やその家族への支援を行う。その他、認知症についての普及・啓発のため認知症講演会等を開催する。</p>																																				
取組実績	<p>1 認知症初期集中支援推進事業</p> <p>(1) チーム会議開催回数 4回</p> <p>(2) 相談件数 6件</p> <p>(3) アウトリーチ件数 4件</p> <p>2 認知症講演会</p> <p>(1) 内容 1回目 演題「認知症の人と考える、だれもが安心して暮らせるまちづくり」 2回目 演題「介護から快活へ」～介護って奥深い～</p> <p>(2) 参加者数 延べ286名（1回目：202名、2回目：84名）</p> <p>(3) 回数 2回/年</p> <p>3 認知症ケアパスの見直し、当事者向け認知症ケアパスの作成</p> <p>(1) 配布先 認知症講演会参加者、地域包括支援センター相談者等</p> <p>(2) 配布開始 平成28年7月から</p> <p>(3) R6配布（作成） 1,800部</p> <p>4 認知症簡易チェックサイト アクセス数：2,478回</p> <p>5 認知症カフェ</p> <p>(1) 対象 当事者、介護者、支援者等、地域住民</p> <p>(2) 会場 12か所（市内集会所等）（前年度10か所）</p> <p>(3) 回数 延べ93回（前年度80回）</p> <p>(4) 参加者数 延べ1,612人（前年度 1,322人）</p>																																				
成果	<p>認知症初期集中支援チーム会議では令和5年度に比べ開催回数は減少したが、アウトリーチ件数は横ばいで、アウトリーチを実施した全ケースが医療・介護につながった。必要時に相談につなげられるよう、継続して各地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所だけでなく、住民への周知も行った。また、各地域包括支援センターに認知症地域支援専門員を配置しており、認知症の方へのサポート体制が整備されてきている。認知症カフェについては、会場が2か所増え12か所（各地域包括支援センター）での開催となり、開催回数と参加者数ともに増加した。</p> <table border="1"> <caption>認知症初期集中支援推進事業</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">医療・介護につながった者の割合（%）</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">延べ検討件数（件）</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>80.0%</td> <td>80.0%</td> <td>/</td> <td>15件</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>65.0%</td> <td>66.6%</td> <td>102.5%</td> <td>24件</td> <td>18件</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>70.0%</td> <td>60.0%</td> <td>85.7%</td> <td>24件</td> <td>6件</td> <td>25.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5から成果指標を変更している。</p>						年度	医療・介護につながった者の割合（%）		達成率	延べ検討件数（件）		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R4	80.0%	80.0%	/	15件	/	R5	65.0%	66.6%	102.5%	24件	18件	75.0%	R6	70.0%	60.0%	85.7%	24件	6件	25.0%
年度	医療・介護につながった者の割合（%）		達成率	延べ検討件数（件）		達成率																															
	目標値	実績		目標値	実績																																
R4	80.0%	80.0%	/	15件	/																																
R5	65.0%	66.6%	102.5%	24件	18件	75.0%																															
R6	70.0%	60.0%	85.7%	24件	6件	25.0%																															
成果に係る評価	<p>認知症高齢者は年々増加傾向にあることから、今後も引き続き関係機関と連携し、地域住民に対し「自分事として」正しく認知症を知ってもらえるよう理解・啓発促進に努め、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりに取り組む必要がある。また、早期発見・早期対応ができるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所だけでなく、医療機関や介護事業所、地域住民へ認知症事業の周知も継続して行っていく。</p> <p>※検討件数の多さが支援の質の高さ、本人や家族の満足度等の評価と関係しているか明らかではなく、厚生労働省や国立長寿医療研究センターが評価指標の見直しを行っている。そのため、認知症施策推進大綱に目標として明記されている「認知症初期集中支援チームにおける医療・介護サービスにつながった者の割合65%」を令和5年度から成果指標と変更（令和4年までの成果指標「検討した延べ件数」）。</p>																																				
予算の執行状況	（単位：円）																																				
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
		国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																
11,390,000	11,031,664	6,919,244		2,123,065	1,989,355																																

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名	在宅医療・介護連携推進事業																																																		
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																	
	6 目	在宅医療・介護連携推進事業費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																	
	事業	在宅医療・介護連携推進事業費（介護保険事業特別会計）		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																																	
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P60																																																		
目的及び事業内容	<p>在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会を開催し、顔の見える関係づくりを行う。</p> <p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護の一体的な提供を行うために、医療介護関係者の連携の推進を図る。</p>																																																					
取組実績	<p>1 医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会の開催</p> <p>医療職と介護職の顔の見える関係づくりを促進するため、医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会を開催した。</p> <table border="1"> <caption>医療・介護関係者研修会</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>2回</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>3回</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>3回</td> <td>155人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 住民への在宅医療・介護事業の普及啓発</p> <p>在宅医療・介護連携事業の理解を深めるため、市民講座及び出前講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">出前講座</th> <th colspan="2">市民講座</th> </tr> <tr> <th>在宅看取りに関する内容 開催回数</th> <th>参加人数</th> <th>在宅医療・介護連携に関する内容 開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>5回</td> <td>79人</td> <td>3回</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>6回</td> <td>146人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2回</td> <td>17人</td> <td>2回</td> <td>166人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 石巻市在宅医療・介護連携ウェブサイトの利活用を推進</p> <p>市民が必要とする医療・看護・介護等の情報の検索や行政からの情報や研修会等の情報の発信を行った。</p> <table border="1"> <caption>ウェブサイト</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>アクセス数</th> <th>登録数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1,074件</td> <td>233件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>688件</td> <td>232件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>416件</td> <td>231件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	開催回数	参加人数	R4	2回	56人	R5	3回	100人	R6	3回	155人	年度	出前講座		市民講座		在宅看取りに関する内容 開催回数	参加人数	在宅医療・介護連携に関する内容 開催回数	参加人数	R4	5回	79人	3回	101人	R5	6回	146人	2回	50人	R6	2回	17人	2回	166人	年度	アクセス数	登録数	R4	1,074件	233件	R5	688件	232件	R6	416件	231件
年度	開催回数	参加人数																																																				
R4	2回	56人																																																				
R5	3回	100人																																																				
R6	3回	155人																																																				
年度	出前講座		市民講座																																																			
	在宅看取りに関する内容 開催回数	参加人数	在宅医療・介護連携に関する内容 開催回数	参加人数																																																		
R4	5回	79人	3回	101人																																																		
R5	6回	146人	2回	50人																																																		
R6	2回	17人	2回	166人																																																		
年度	アクセス数	登録数																																																				
	R4	1,074件	233件																																																			
R5	688件	232件																																																				
R6	416件	231件																																																				
成果	<p>在宅生活の継続に着目した市民講座を開催したことで、地域住民が在宅医療・介護への関心を高めることができた。また、在宅生活を支えるために、顔の見える関係づくりを目的とした研修会・交流会を行ったことで、より多職種間の関係性を構築することができた。</p>																																																					
成果に係る評価	<p>看取りに関する医療・介護関係者の研修会を開催したことで、在宅生活を支える医療職と介護職間の顔の見える関係が構築できた。</p> <p>また、市民講座のなかで、医療職から在宅生活に着目した講話を実施したことにより、在宅医療と在宅介護について、地域住民への普及啓発が図られた。</p> <p>石巻市在宅医療・介護連携ウェブサイトのアクセス数が減少傾向であるため、医師会等の職能団体を通じて掲載データの更新作業を行い、各事業所へ更新について周知を行っていく。</p>																																																					
予算の執行状況	（単位：円）																																																					
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
		国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																																	
1,003,000	798,475	500,817		153,668	143,990																																																	

予算科目	5 款	保健福祉事業費	事業名	高齢者の生きがいと創造の事業						
	1 項	保健福祉事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち					
	1 目	保健福祉事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実					
	事業	保健福祉事業費（介護保険事業特別会計）		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する					
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49						
目的及び事業内容		60歳以上の市民を対象として、専門講師による各種講座を開講し、高齢者等が知識と経験を活かし、創造的活動と趣味を通して老後の生きがいを高めることを支援する。								
取組実績	各地区の会場において、木工・陶芸・手編み・ステンドグラス・七宝・つまみ細工・クラフトバンドの各種講座を実施した。									
	1 受講者状況									
	地区	会場	講座	受講者数(実人数)	開催日時					
	本庁	総合福祉会館みなと荘	木工	22人	週1回（火曜日又は金曜日）2班集体制 午前10時から正午まで					
			陶芸	34人	週2回（水曜日及び木曜日で隔週制）2班集体制 午後1時から午後3時まで					
			手編み	48人	週1回（火曜日又は水曜日）2班集体制 午前10時から正午まで					
		ささえあいセンター	ステンドグラス	7人	月2回（第2・第4木曜日） 午前10時から正午まで					
	桃生	桃生公民館	七宝	9人	月2回（第2・第4木曜日） 午前10時から正午まで					
	北上	北上総合支所	つまみ細工	16人	月2回（第1・第2木曜日）2班集体制 午前10時から正午まで/午後1時から3時まで					
			クラフトバンド	24人	月2回（第3・第4火曜日） 午前10時から正午まで					
2 開講状況										
年度	区分	本庁			桃生	北上		計		
R4	実施回数	89回	82回	91回	ステンドグラス	20回			282回	
	延受講者数	784人	947人	1,120人		67人			2,918人	
R5	実施回数	93回	91回	95回	ステンドグラス	20回	8回	11回	318回	
	延受講者数	663人	1,124人	1,194人		80人	106人	128人	3,295人	
R6	実施回数	91回	96回	96回	ステンドグラス	16回	20回	32回	18回	369回
	延受講者数	709人	1,201人	1,576人		73人	129人	213人	379人	4,280人
成果	令和6年度から石巻地区でステンドグラス講座を新規開設した。年間を通して事業を実施することで、高齢者等の生きがいづくりを支援することができた。									
成果に係る評価	気軽に参加できる活動の場を提供し、高齢者等の生きがいを高めることは、閉じこもり予防や健康の保持増進を図ることにつながるため、引き続き事業を継続していく。加えて新規受講者の増加につながるよう、幅広い地域の方や初めて応募される方のために優先枠を設けたり、広報の充実、新規講座の開設を検討していく。									
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入				
	4,445,100	3,926,702	31,331			3,895,371				

予算科目	5 款	保健福祉事業費	事業名	介護用品支給事業				
	1 項	保健福祉事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
	1 目	保健福祉事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実			
	事業	保健福祉事業費（介護保険事業特別会計）		(3)	高齢者の生活支援を推進する			
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 50				
目的及び事業内容		市内に住所を有し、世帯全員が市市民税非課税で、介護認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している家族に対し、紙おむつ等を購入できる介護用品支給券を支給することにより、家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。						
支給額：要支援1～要介護3 月額2,000円 要介護4～要介護5 月額5,000円								
取組実績	1 介護用品支給券の支給 (1) 令和5年度該当者に対し、令和6年度分の申請勧奨を実施するとともに、ケアマネジャーによる周知やチラシ配布等により、新規対象者の把握に努めた。 (2) 申請に対し、該当・非該当の決定をし、該当者に対しては介護用品支給券を交付した。							
	2 支給対象品目 (1) 要支援1～要介護3 紙おむつ及び尿取りパッド (2) 要介護4～要介護5 紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤及びドライシャンプー							
	介護用品支給券実績							
	年度	2,000円券	5,000円券	計	目標値	達成率	支払実績	
	R4	363人	135人	498人	500人	99.6%	10,695,909円	
	R5	392人	159人	551人	550人	100.2%	11,789,761円	
	R6	373人	165人	538人	570人	94.4%	11,541,963円	
	年度	2,000円券(新規)	2,000円券(継続)	5,000円券(新規)	5,000円券(継続)	計	該当者のうち異動届提出件数(死亡・入所等)	
	R4	178人	185人	37人	98人	498人	13人	
	R5	155人	237人	46人	113人	551人	111人	
R6	148人	225人	29人	136人	538人	32人		
成果	在宅で介護をしている家族の負担軽減が図られた。また、申請件数の減少に伴い、該当者数・支払実績ともに前年度と比較し減少した。減少した要因として、前年度からの継続申請者の介護度が上がり、死亡や在宅から施設入所へと生活拠点の変化に伴う継続申請者数の減少が考えられる。							
成果に係る評価	要支援者及び要介護者を在宅で介護する家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減が図られた。介護用品を必要とする方からの申請漏れがないよう、今後も該当者へ申請勧奨を実施するとともに、市民、ケアマネジャー等へ制度の周知を図っていく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入		
	15,902,036	11,695,105	93,313			11,601,792		

予算科目	1 款	資本的支出	事業名	石橋下水道整備事業	
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		(7)	下水道等の整備を推進する
担当部課	建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P38	

歩行者の下水道への転落事故を防止するとともに、降雨時の水害防止と市街地の生活環境の向上を図るため、未改良である石橋下水道の整備を行うもの。

取組実績	工事・業務名		概要		
	令和5年度 石橋下水道改良工事	下水道改良工事 L=75.80m			・土工 ・水路工 排水フリーウム工 L=54.3m ・水路付帯工 等
		令和6年度 石橋下水道改良工事			
	石橋下水道横断防止柵設置工事		横断防止柵設置 L=33.3m 等		
石橋下水道横断防止柵設置（その2）工事		横断防止柵設置 L=34.3m 等			

未改良の石橋下水道を整備するとともに、横断防止柵の設置により、生活環境の改善と歩行者の安全確保が図られた。

関係機関等の協議に時間を要し一部事業を繰越したものの、未改良の石橋下水道の整備により、生活環境の改善が図られるとともに、未整備時に発生していた除草や浚渫などの費用が縮減され、維持管理経費の抑制にも寄与できるものとなった。

(単位: 円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
	34,870,000	34,687,800			34,687,800	

予算科目	1 款	資本的支出	事業名	公共下水道建設事業	
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		(7)	下水道等の整備を推進する
担当部課	建設部下水道建設課	実施計画掲載ページ		P38	

生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠を整備する。また、大雨による市街地における浸水被害の防除を図るため、雨水排水ポンプ場や雨水幹線を整備する。

- ・汚水
全体計画面積：4,404.5ha、全体計画処理人口：99,700人
- ・雨水
雨水排水ポンプ場整備
雨水排水幹線整備

○令和6年度公共下水道建設事業実績

・汚水 整備面積、管渠施設施工延長実績

地区	整備面積(ha)	累計整備面積(ha)	管径(mm)	施工延長(m)	累計延長(m)	備考
石巻	7.58	1,905.62	φ150~250	2,035.73	460,658.58	県移管分を含む
河北	0.04	219.19	φ150	0.00	49,743.71	
河南	1.20	448.79	φ150~200	223.00	85,916.73	鹿又地区を含む
桃生	0.20	191.57	φ150~250	0.00	30,176.33	
北上	0.00	63.10	φ150	0.00	26,854.46	防集事業を含む
牡鹿	0.00	69.94	φ150	0.00	22,447.91	防集事業を含む
計	9.02	2,898.21		2,258.73	675,797.72	

・雨水 中ノ堀幹線整備、中里地区雨水管渠測量実施設計、中央幹線管きょ建設工事
内水ハザードマップの作成等

○汚水 普及率、整備率の実績

汚水	地区	普及率 (供用開始区域人口/行政区域人口)		整備率 (整備済面積/全体計画面積)	
		R5	R6	R5	R6
下流東部流域	石巻	86.7%	86.0%	81.4%	81.5%
	河北	61.1%	61.9%	53.2%	53.3%
	桃生	53.2%	53.7%	59.4%	59.4%
	計	77.7%	77.5%	72.2%	72.3%
下流流域	石巻	75.9%	76.3%	62.4%	62.8%
	河南	59.6%	60.6%	54.5%	54.7%
	計	72.4%	73.0%	60.0%	60.3%
単独	河北	64.0%	64.0%	67.4%	67.4%
	北上	48.9%	50.0%	100.0%	100.0%
	牡鹿	35.1%	34.6%	90.8%	90.8%
合計		72.3%	72.7%	65.6%	65.8%

○雨水 工事進捗状況
雨水幹線の整備：施工延長 112.36m
その他：内水ハザードマップを作成し下水道全体計画区域内住民へ配布。市ホームページでも公開。

下水道事業は健全な都市環境に欠かせない社会資本として、汚水事業については石巻市生活排水処理基本構想、雨水事業については石巻市雨水排水基本計画に基づく整備を推進している。

汚水事業は、汚水管渠を約2.3km整備したことにより、整備済面積が9.02ha増加したことから、生活環境の改善や公衆衛生の向上に寄与することができた。

雨水事業は、雨水幹線の整備を計画どおり実施した。また、雨水出水浸水想定区域を指定し、想定される浸水区域や浸水の深さなどの浸水情報と避難方法などの情報をまとめた内水ハザードマップを作成し、配布等することで浸水被害の軽減に寄与することができた。

今後も引き続き、国からの予算や人員の確保等を考慮しながら、各地区の実情等に応じた汚水処理施設の整備及び市街地における浸水被害の軽減を図り、効率的に下水道事業を推進する。

(単位: 円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
	2,624,570,120	2,551,154,386	1,148,924,201	1,353,266,902	48,963,283	

予算科目	1 款	資本的支出	事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		(7)	下水道等の整備を推進する	
担当部課	建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P37		
目的及び事業内容		改築・更新需要に対し、下水道施設全体を把握し、施設機能や財政の健全性を保持すると共に、持続可能な下水道事業を実現するためのストックマネジメント事業を実施する。				
取組実績	工事・業務名		概要			
	井内排水ポンプ場（電気設備）改修その2工事	電気設備工事 ・機械据付 ポンプ補機コントロールセンタ 1面 ポンプ補機補助継電器盤 1面 等 ・配線工事 1式 ・盤架台製作据付 電気室 新設盤用 1式 ・コンクリート床築造 ・既設盤、機器等の撤去 1式				
取組実績	住吉排水ポンプ場（電気設備）改修工事		電気設備工事 ・機械据付 直流電源盤・計装盤 1面 流入渠水位計・温水槽温度計 1組 ・配線工事 1式 等			
	事業の実施により雨水排水施設の長寿命化が図られる。					
成果	実施年度		実施業務			
	H30		石巻市公共下水道 ストックマネジメント基本計画策定業務			
	H31～R2		石巻市公共下水道 ストックマネジメント点検・調査業務			
	R3～R4		住吉排水ポンプ場ほか2施設 電気・機械設備改修実施設計業務			
	R4～R5		井内排水ポンプ場（電気設備）改修工事			
	R5～R6		井内排水ポンプ場（電気設備）改修その2工事 住吉排水ポンプ場（電気設備）改修工事			
成果に係る評価	住吉排水ポンプ場は昭和56年、井内排水ポンプ場は平成8年に供用を開始し、区域内の雨水の排除により浸水被害の抑制に寄与してきたが、施設の老朽化が進み、施設の計画的な更新が必要となっている。 本事業により、施設の状況等を踏まえた改築・修繕を行い、施設の延命及び機器の強化を図り、ライフサイクルコストを低減するとともに、雨水の排除により浸水被害を抑制するため、本事業を継続して進めていく必要がある。					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入
	103,020,000	103,020,000	51,510,000	51,500,000	10,000	

予算科目	1 款	資本的支出	事業名	緊急冠水対策事業（雨水分）		
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		(2)	災害に対する備えを充実させる	
担当部課	建設部下水道建設課	実施計画掲載ページ		P33		
目的及び事業内容		復旧・復興事業により、主要な雨水幹線管渠や雨水排水ポンプ場が概ね完成した中であって見えてきた、局地的な冠水常襲箇所における被害の軽減に向けたピンポイントの緊急冠水対策を実施するもの。				
取組実績	1 貞山・錦町地区（山下駅周辺）で大雨時に冠水が頻発することから、冠水被害の軽減・解消を図るため、陸前山下駅周辺に、ポンプピット及び排水ポンプ（φ200・1基）を設置するとともに雨水管渠を布設するための工事に着手した。 管渠延長 L=51.5m 管布設工 開削区間 P E φ200mm L=31.5m 取付区間 P E φ200mm L=20.0m 付帯工 集水樹（ポンプピット）2000×2000 N=1基 舗装仮復旧工 A=35㎡					
	2 大街道南三丁目地内の既存雨水管渠の屈曲部において、排水能力を向上させ、上流域の貞山・大街道地区の冠水被害の軽減・解消を図るための改良工事を実施した。 管渠工 コンクリート工 V=2.6㎡ 型枠工 A=5.0㎡ ケミカルアンカー N=32箇所 鉄筋工 1kg 仮設工 1式					
成果	1 貞山・錦町地区（山下駅周辺）の冠水対策に着手し、工事箇所に隣接するJR仙石線との近接工事の可否確認を終了させ、工事を進めている。					
	2 大街道南三丁目地内の既存雨水管渠の屈曲部の改良工事を完了させ、排水流下効率を高め、冠水リスクの軽減を図った。					
成果に係る評価	大街道南三丁目地内における既存雨水管渠の屈曲部の改良工事は完了し、貞山・錦町地区（山下駅周辺）については、事業継続中である。「公共下水道建設事業」による中長期の雨水排水施設整備事業と並行して、局地的な冠水対策促進事業を行うことにより、復旧・復興事業により完成した幹線管渠や排水ポンプの機能を最大限活用し、早期に整備効果が実感できる安全安心なまちづくりに寄与するものである。					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入
	451,000	451,000		451,000		

予算科目	1 款	下水道事業費用	事業名	農業集落排水施設機能保全対策事業												
	1 項	営業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち											
	5 目	集落排水施設費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進											
	事業	農業集落排水施設事業計画等策定事業（下水道事業会計）		(7)	下水道等の整備を推進する											
担当部課	建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P38												
目的及び事業内容	改築・更新需要に対し、農業集落排水処理施設全体を把握し、施設機能や財政の健全性を保持すると共に、持続可能な農業集落排水処理事業を実現するため機能保全対策事業を実施する。															
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務</td> <td>施設計画概要書見直し業務 1 基本事項の見直し 2 計画関連資料及び調査結果の見直し 3 財政計画及び経済効果の見直し 4 取りまとめ</td> </tr> </tbody> </table>						業務名	概要	定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務	施設計画概要書見直し業務 1 基本事項の見直し 2 計画関連資料及び調査結果の見直し 3 財政計画及び経済効果の見直し 4 取りまとめ						
業務名	概要															
定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務	施設計画概要書見直し業務 1 基本事項の見直し 2 計画関連資料及び調査結果の見直し 3 財政計画及び経済効果の見直し 4 取りまとめ															
成果	<p>事業の実施により農業集落排水処理施設の長寿命化が図られる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>実施業務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>農業集落排水施設最適化整備構想策定業務</td> </tr> <tr> <td>R1～R2</td> <td>令和元年度定川地区（農集排）機能強化対策事業計画概要書策定業務</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>定川地区維持管理適正化計画作成業務</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	実施業務	H29	農業集落排水施設最適化整備構想策定業務	R1～R2	令和元年度定川地区（農集排）機能強化対策事業計画概要書策定業務	R5	定川地区維持管理適正化計画作成業務	R6	定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務
実施年度	実施業務															
H29	農業集落排水施設最適化整備構想策定業務															
R1～R2	令和元年度定川地区（農集排）機能強化対策事業計画概要書策定業務															
R5	定川地区維持管理適正化計画作成業務															
R6	定川地区農業集落排水施設計画概要書見直し業務															
成果に係る評価	<p>定川地区では、平成6年度から農業集落排水施設整備に着手し、平成11年から施設を供用開始しており、本施設により、水質は健全な状態で維持されているものの、供用開始から約25年が経過し、施設の老朽化が進行しており、施設の故障等による汚水処理停止の可能性が懸念される。 本業務を実施したことにより、今後予定している実施設計書作成業務の発注、施設改修工事の実施につながるものとなった。</p>															
予算の執行状況	(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入										
	2,000,000	2,000,000	1,000,000		1,000,000											

予算科目	1 款	下水道事業費用	事業名	下水道接続助成事業																			
	1 項	営業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち																		
	7 目	普及促進費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進																		
	事業	普及促進費（下水道事業会計）		(7)	下水道等の整備を推進する																		
担当部課	建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P37																			
目的及び事業内容	下水道供用開始区域の下水道未接続者に対し、公共下水道等に接続する際に工事費の一部を補助し、下水道接続を促進する。																						
取組実績	<p>令和6年度から助成対象や助成金額の見直しを行い、下水道接続助成事業として、事業を実施した。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td>95件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>18,981,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○改正内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浄化槽切替助成事業</td> <td>下水道接続助成事業</td> </tr> <tr> <td>助成対象</td> <td>既設の浄化槽を廃止し、公共下水道に接続した者</td> <td>既設の浄化槽又はくみ取便所を廃止し、公共下水道（農業集落排水施設を含む。）に接続した者</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>上限10万円</td> <td>(1) 下水道に接続できる時（処理区域において下水道が供用開始となった時）から3年以内に接続 上限20万円 (2) (1)以外 上限10万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新制度施行後3年間は、下水道に接続できる時から3年を経過していても、(1)の助成の対象とする。</p>							R6	助成件数	95件	補助金額	18,981,000円	事業名	改正前	改正後	浄化槽切替助成事業	下水道接続助成事業	助成対象	既設の浄化槽を廃止し、公共下水道に接続した者	既設の浄化槽又はくみ取便所を廃止し、公共下水道（農業集落排水施設を含む。）に接続した者	助成金額	上限10万円	(1) 下水道に接続できる時（処理区域において下水道が供用開始となった時）から3年以内に接続 上限20万円 (2) (1)以外 上限10万円
	R6																						
助成件数	95件																						
補助金額	18,981,000円																						
事業名	改正前	改正後																					
	浄化槽切替助成事業	下水道接続助成事業																					
助成対象	既設の浄化槽を廃止し、公共下水道に接続した者	既設の浄化槽又はくみ取便所を廃止し、公共下水道（農業集落排水施設を含む。）に接続した者																					
助成金額	上限10万円	(1) 下水道に接続できる時（処理区域において下水道が供用開始となった時）から3年以内に接続 上限20万円 (2) (1)以外 上限10万円																					
成果	<p>本事業により浄化槽やくみ取便所を廃止し、下水道へ接続する方の金銭的負担の軽減が図られるとともに水洗化の促進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数</td> <td>73件</td> <td>60件</td> <td>89件</td> <td>51件</td> <td>95件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和5年度までは浄化槽切替助成事業の実績を記載している。</p>						主な指標項目	R2	R3	R4	R5	R6	助成件数	73件	60件	89件	51件	95件					
主な指標項目	R2	R3	R4	R5	R6																		
助成件数	73件	60件	89件	51件	95件																		
成果に係る評価	<p>本事業の実施により、公共下水道への早期接続を促進し、浄化槽やくみ取り便所を廃止し、下水道へ接続することで、公共用水域の水質保全が図られるとともに、水洗化の促進により、生活環境の向上が図られるものである。 令和6年度より、単独浄化槽からの切り替えのみが助成の対象要件であったものを汲取り槽も要件に加え、また、助成金額を10万円から20万円に増額し、更に、農業集落排水区域においても助成の対象としたことから、前年度より助成件数が増加した。 このことから、今後も継続し事業を実施していく必要がある。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																	
	19,000,000	18,981,000	4,000,000		14,981,000																		